

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要	<p>1 法人の事業概要 (1)冷蔵凍結の業務 (2)氷の製造及び販売 (3)上記に付帯する一切の業務</p> <p>2 法人の設立目的 上記事業を通じて、市民への生鮮食料品等の供給拠点である川崎市中央卸売市場北部市場の冷蔵・冷凍保管機能等を担い、市民の豊かな食生活を支えることを設立目的としています。</p> <p>3 法人のミッション 食の安全・安心が求められている中、冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことにより、市民への安定的な食料供給体制の一翼を担います。また、独立した法人として経営を行うよう効率的な業務運営に努め、持続可能な安定した経営を確保していきます。</p>														
本市施策における法人の役割	<p>生鮮食料品等を大量に取引する北部市場においては、取り扱い物品の円滑な流通を図るために冷蔵・冷凍保管機能が必要不可欠であり、冷蔵・冷凍設備は、欠かすことのできない設備です。また、これらの業務や施設の運営は専門性が高いことから、専門性を有した外部主体の活用が効果的です。当該法人が柔軟かつ効率的な業務運営を行うとともに、公共性を保持しつつ企業の創意と工夫を行うことにより、市民への安定的かつ効率的な生鮮食料品等の供給を実現するための一翼を担っています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;">市総合計画に関連する政策等</th> <th style="width: 20%;">政策</th> <th style="width: 20%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">法人の取組と関連する市の計画</td> <td></td> <td>政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興</td> <td>施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関連する市の分野別計画</td> <td colspan="2">川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】</td> </tr> </tbody> </table>				市総合計画に関連する政策等	政策	施策	法人の取組と関連する市の計画		政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興	施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成		関連する市の分野別計画	川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】	
	市総合計画に関連する政策等	政策	施策												
法人の取組と関連する市の計画		政策4-1 川崎の発展を支える産業の振興	施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成												
	関連する市の分野別計画	川崎市卸売市場経営プラン【平成28(2016)年度-令和7(2025)年度】													
現状と課題	<p>1 現状 北部市場水産物部の取扱量が低迷を続ける中、冷蔵庫利用ニーズを踏まえ、稼働率を上げることで売上を確保するとともに、計画的な修繕による経費の平準化や効率的な動力の運用による動力費の抑制などによる経費の削減に向けた取組を継続的に進めています。「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」等を通じて、「経営改善基本計画書」の進捗管理やこれら経営改善に向けた取組の検証を行っており、令和元(2019)年度には債務超過を解消するなど、経営の改善が図られています。</p> <p>2 課題 債務超過は解消したものの、依然として利益剰余金がマイナスで借入金の残債があり、また経営支援として、現在市より使用料の減免を受けている状況であることから、今後もさらなる経営改善を進め、独立した法人として経営が行われるよう取組を進めていく必要があります。併せて、新型コロナウイルス感染症の影響による市場取扱量の増減は経営に影響を及ぼすことから、市や場内事業者等と連携しながら、引き続き注視するとともに、経営の効率化を進める必要があります。</p>														
取組の方向性	<p>1 経営改善項目 場内事業者の利用ニーズを踏まえ、場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、稼働率の向上、売上の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を、継続してまいります。併せて、経営の健全化に向けて、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を継続し、「経営改善基本計画書」に基づき、効率的な運営に努めてまいります。また、独立した法人として経営が行われるよう使用料の減免の見直しを進めるとともに、機能更新を見据えて基本的な経営の方向性について市と協議してまいります。</p> <p>2 連携・活用項目 市民に安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。</p>														

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

- ・市民に安定的かつ効率的に生鮮食品等を供給する卸売市場の機能は、今後とも大変重要で必要な機能です。当該法人が、効率的で安定的な経営を確保しながら、場内事業者等に対して冷蔵・冷凍保管機能等のサービス提供や凍水の製造販売を行うことは、その機能の実現に大きく寄与するものであることから、今後とも連携・活用を図っていきます。
- ・場内事業者の利用ニーズを踏まえ場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、稼働率向上及び売上高の確保を図るとともに、計画的な修繕や動力費の抑制等により経費の削減を引き続き行っていきます。
- ・引き続き、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」を開催し、「経営改善基本計画書」に基づき、効率的な運営に努めてまいります。
- ・当該法人が建設した3号棟冷凍庫にかかる借入金を、経営改善計画に基づき返済を進めるとともに、市からの使用料の減免については、令和6(2024)年度の借入金返済終了時に向けて、「川崎冷蔵経営モニタリング委員会」での意見等も踏まえ、独立した法人として経営が行われるよう開設者と協議し見直してまいります。
- ・今後の経営に向けては、基本的な方針の作成に向けて取組みを進めるとともに、北部市場の機能更新後のあり方に向けて、独立した法人としての対応を市と協議してまいります。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方向性 (※4)
①	冷蔵・冷凍保管業務事業	一般保管取扱量(在庫量)	16,086	17,669	15,147	t	c	D	II
		容積稼働率(容積ベース)	95.1	96	92.8	%	c		
②	氷の製造及び販売業務事業	凍水販売量	475	680	515	t	b	C	II

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	経常利益の確保	経常利益	37,817	45,088	14,074	千円	d	E	II
②	自立的・安定的な経営の実施	有利子負債比率	259.1	104.8	126.3	%	b	C	II
		主要な売上高	372,170	382,184	362,247	千円	c		
		使用料の減免金額	24,629	24,629	24,629	千円	a		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和4 (2022)年度)	実績値 (令和4 (2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	効率的な業務体制の確保	売上高に対する人件費率	28.8	28	29.3	%	b	C	II

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多かった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

水産物部の取扱量の低迷や新型コロナウイルス感染症の影響のほか、電気料金の高騰など、取り巻く環境は厳しい状況でございますが、場内事業者の利用ニーズを踏まえた上での場外事業者への営業活動や需要の掘り起こしを図るなど、売上高の確保に努めました。また、長期借入金の返済や計画的な修繕の実施による施設の維持など、自主的・自律的な経営の確保に向けて経営改善に努めました。

また、更なる安定的な経営の確保に向けて、長期借入金の返済完了や市使用料の減免見直しのほか、電気料金の高騰を反映した令和5年度から令和8年度までの中期事業計画を新たに策定しました。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

電気料金の高騰や水産物部の取扱量が低迷していることもあり、一般保管取扱量及び容積稼働率、凍水の年間販売量のほか、経営健全化の指標並びに、売上高に対する人件費率等多くの指標について目標を達成することができませんでしたが、新規顧客の獲得に努めております。今後、新たに作成した中期事業計画に基づき、安定的な経営に向けた取組を進めていただくことを期待します。そして、電気料金の高騰は、冷蔵・冷凍施設を有する当該法人にとって、非常に影響が大きく、引き続き不透明な状況が続くものと思われませんが、積極的な営業展開に努め売上高の確保を図るほか、経費の抑制に努め、現在市より受けている減免の計画的な見直しや更なる安定的な経営の確保に努めていく必要があります。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	冷蔵・冷凍保管業務事業
計 画 (Plan)	
現状	新型コロナウイルス感染症の影響や市場間競争など、卸売市場を取り巻く環境は厳しい状況であり、北部市場水産物部の取扱量も低迷を続けています。そのため、場内事業者の需要の減少等により一般保管取扱量は減少傾向にあり、稼働率の向上等売上の確保に努めていく必要があります。
行動計画	卸売市場として冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業となるため、引き続き、青果部や花き部を含めた北部市場全体の需要の掘り起こしに努めるなど、一般保管取扱量及び容積稼働率の確保・増加に努め、事業を推進します。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症等の影響もあり場内事業者の取扱量が低迷しているほか、電気料金高騰など経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が想定される中、水産物部だけでなく、関連事業者も含めた場内事業者の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者の利用ニーズを踏まえ、ホームページ等も活用しながら、場内外事業者への営業展開等に努めるなど、取扱量及び稼働率の向上に努めてまいります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 一般保管については、取扱量の増加に向けて、場内事業者等の顧客からの紹介等により営業活動に努めましたが、単価高等による水産物部の取扱量の低迷を受け、一般保管取扱量の入庫量は15,147t(前年比94.1%)となり、その結果一般保管売上高は、148,883千円(前年比96.6%、5,253千円減)となりました。</p> <p>【指標2関連】 F級(-20℃)については、ほぼ満室に近い稼働率を維持することができましたが、場内仲卸事業者廃業に伴う解約等の影響から、SF級(-40～50℃)の利用が低迷したことから容積稼働率は92.8%(前年比2.3%減)となり、その結果容積建売上額は202,621千円(前年比97.3%、5,605千円減)となりました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	一般保管取扱量(入庫量)	目標値	16,086	17,669	17,707	17,748	17,748	t
	説明 一般保管に関する年間入庫量	実績値		15,147				
2	容積建稼働率(容積ベース)	目標値	95.1	96	96	96	96	%
	説明 容積建稼働率に関する年間の容積ベース稼働率 ※R4～7年度個別設定値:94.5%(直近4年間の実績の平均値)	実績値		92.8				
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		C	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>一般保管取扱量については、水産物部の取扱量の減少等の影響により、新規の顧客の獲得に努めたものの、昨年度に引き続き減少しました。なお、水産物部の取扱量について、新型コロナウイルス感染症感染拡大以降、継続して減少傾向にあり、令和4(2022)年度は単価高もあり減少しています(前年度比82.2%)。</p> <p>容積建稼働率については、水産物部の取扱量の減少もありますが、場内仲卸事業者廃業に伴う解約等の影響が大きいことから、現在利用している顧客に対して、利用容積の拡大等の協議を行い稼働率の向上に努めました。</p>								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多かった E. 現状を大幅に下回った	D

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	-	-	-	-	-	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		-	-	-	-	
行政サービスコスト に対する達成度		1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上						
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)								

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 北部市場水産物部の取扱量が減少している中ではありますが、引き続き一般保管取扱量及び容積建稼働率の確保・増加を図るため、水産物部だけでなく場内事業者の需要の掘り起こしに努めるとともに、場内事業者の利用ニーズを踏まえ、場内外事業者への売上拡大の取組を進めてまいります。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)

事業名	氷の製造及び販売業務事業
-----	--------------

計 画 (Plan)

現状	新型コロナウイルス感染症の影響や市場間競争など、卸売市場を取り巻く環境は厳しい状況であり、北部市場の水産物部の取扱量も低迷を続けています。それら荷の減少、さらには利便性から自前の製氷装置で氷を作る業者が増えてきており、場内事業者への売上は減少傾向にあります。市場の冷凍・冷蔵保管機能を担っており、継続していく必要があります。
行動計画	北部市場水産物部の取扱量が低迷を続ける中であっても、今後も卸売市場の冷蔵・冷凍保管機能を担う重要な事業です。場内事業者への売上は減少傾向にあるものの、需要の掘り起こしに努めるとともに、更なるPRや営業強化等に努め、引き続き、事業を推進していきます。
具体的な取組内容	コロナ禍の影響で花火大会や夏祭り等のイベント中止が続き、氷の需要が低迷していることを踏まえ、前年に引き続き販売方法についてコイン販売は年間を通し継続するものの、窓口販売を7月・8月の2か月間とし、販売量に合わせることで人件費の抑制を行います。 また、引き続きホームページにおける動画等を活用したPRに加えて、北部市場の近隣自治会や事業者等に氷チラシのポスティングを行います。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 凍氷の販売量減少が見込まれたため、窓口販売については前年に引き続き7月・8月の2か月間とすることで人件費の抑制を行うなど、経費の削減に取り組みながら凍氷の販売を行いました。また、ホームページによるPRに加えて、北部市場の近隣の自治会や事業者等に氷チラシのポスティングを実施し、新たな需要の掘り起こしに取り組みました。
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	凍水販売量	目標値	475	680	754	808	808	t
	説明 凍水の年間販売量	実績値		515				

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
------------------------	----------	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

北部市場水産物部の市場取扱量の減少や新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、ホームページでの告知や夏祭り等一部のイベントが再開されたことなどにより、凍水販売量は前年を上回る年間515t(前年比108.4%)となりましたが、目標値を達成することができませんでした。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		C	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	-	-	-	-	-	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		-	-	-	-	

行政サービスコスト に対する達成度	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
------------------------------	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		C	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	経常利益の確保
計画(Plan)	
現状	水産物部の取扱量の低迷が続く中、稼働率の向上や経費の抑制に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保しています。
行動計画	引き続き、効率的な運営に努め、長期借入金の返済原資となる経常利益を確保するとともに、持続可能な長期的会社運営の視点に立ち、経営を行っていきます。なお、令和6(2024)年度以降は、使用料の減免見直しにより、令和5(2023)年度までの目標値から、概ね24,600千円強の減額を見込んだものとします。
具体的な取組内容	冷凍・冷蔵サービスの維持向上に取り組むとともに、営業展開に努め、稼働率を確保するなど売上の維持を図り、第3号棟自動倉庫の機械装置等の計画的な修繕の実施や経費の節減に努め、経常利益の確保に努めてまいります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大や電気料金の高騰等取り巻く環境も変化している中、今後の経営の安定に向けて、令和5(2023)年度から8(2026)年度までの中期事業計画を作成していきます。

実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 一般保管取扱量について前年比94.1%と減少したほか、容積稼働率についても前年稼働率を下回るなどした結果、売上は、362,247千円と前年比の97.3%と減少しました。これに加えて、電気料金高騰により昨年度に比較して動力費が37,089千円増加(前年比151.5%)したことなどから、経常利益は14,074千円となりました。今後の更なる安定的な経営の確保に向けて、長期借入金の返済完了や市使用料の減免廃止のほか、電気料金の高騰を反映した中期事業計画を新たに策定しました。
---------------	--

評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常利益	目標値		45,088	17,497 47,597	1,957 21,757	5,221 22,721	千円
	説明 営業収益に営業外収益を加えた金額から、営業外費用を除いた金額で、企業の経常的な活動から生じた利益	実績値	37,817	14,074				
指標1に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
売上は、一般保管取扱量の減少、容積稼働率も昨年度実績を下回るなど減少したほか、営業費用についても電気料金の高騰により動力費が大幅に上昇(前年比37,089千円増加)したことなどから、黒字は確保したものの経常利益が減少し、目標を達成することはできませんでした。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	E 水産物部の取扱量の減少等に伴う、売上高減少や、電気料金の大幅な高騰により、目標値を大幅に下回る結果となったため。しかし、そうした中でも、経常利益の黒字を確保したほか、長期的な視野に立ち、将来に向けて計画的な修繕の実施や新たに中期事業計画を策定するなどの取組を進めました。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 冷凍・冷蔵事業は経費に占める動力費の割合が高い事業であることから、最近の電気料金高騰の影響等を大きく受け、目標を達成することができませんでした。今後は、現在の電気料金高騰等の状況を加味し、自立した経営を確保した上での更なる安定的な経営に向け、新たに作成した令和5(2023)年度から8(2026)年度までの中期事業計画に基づき、引き続き、経常利益の確保に努めるとともに、使用料減免の廃止等も含めた、経営健全化に向けた取組を進めてまいります。 令和4(2022)年度に新たに作成した中期事業計画においては、長期借入金の返済や市使用料減免の廃止、電気料金の高騰に伴う動力費の増を反映しており、経常利益が変更となったことから、整合性を図るため、本取組の指標(経常利益)の令和5(2023)年度以降の目標値を再設定します。

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②(令和4(2022)年度)	
項目名	自立的・安定的な経営の実施
計画(Plan)	
現状	水産物部の取扱量の減少等の影響を受け、令和2(2020)年度の売上高は前年比97.6%と減少しています。こうした中、長期借入金の返済を計画的に実施しており、令和6(2024)年度の返済終了を目指しています。
行動計画	令和6(2024)年度の返済終了を目指し、長期借入金の返済を計画的に進め、有利子負債比率の改善を進めるとともに、自立的かつ安定的な経営に向けて、売上高の維持・向上に努めていきます。また、現在行われている使用料の減免については、令和6(2024)年4月に廃止していただくことを予定しております。
具体的な取組内容	水産物部の取扱量が低迷しておりますが、引き続き売上高の確保や経費の節減に努め、長期借入金に関して、令和6(2026)年度の返済終了に向けて、本年度も計画どおり長期借入金の返済(49,200千円)を実施し、有利子負債比率の改善を図ってまいります。また、使用料の減免については、令和6(2024)年度に廃止していただくことに向けて取組を進めてまいります。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 有利子負債については、計画どおり(年間49,200千円)返済したものの、電気料金高騰等により、経常利益が大幅に減少したことにより、純資産は64,317千円に留まりました。</p> <p>【指標2関連】 凍水販売量については、イベントの再開等により前年度に比べ増加したものの、一般保管取扱量について、水産物部取扱量の減少もあり15,147トン(前年比94.1%)となったほか、容積稼働率も92.8%(前年稼働率95.1%)と低迷したことにより、主要な売上高は、362,247千円(前年比97.3%)となりました。</p> <p>【指標3関連】 使用料の減免について、当初の予定どおり、令和6年度の廃止について「中期事業計画」に反映しました。</p>

評価(Check)								
経営健全化に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
1	有利子負債比率	目標値		104.8	47.2 24.7	28.4 8.0	24.9 5.3	%
	説明 純資産に対する利払い及び返済が必要な有利子負債の割合	実績値	259.1	126.3				
2	主要な売上高	目標値		382,184	384,046	385,523	385,523	千円
	説明 本業を示す主要な売上高	実績値	372,170	362,247				
3	使用料の減免金額	目標値		24,629	24,629	0	0	千円
	説明 施設利用に係る使用料の減免金額	実績値	24,629	24,629				

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	c	
指標3 に対する達成度	a	
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)		
水産物部の取扱量の低迷や電気料金高騰の影響を受けて、売上高及び経常利益が減少となったことを受けて有利子負債比率は126.3%、主要な売上高は362,247千円となり、指標1・2は目標を達成できませんでした。 施設利用に係る使用料の減免については、令和6(2024)年度の計画的な廃止に向けて、「中期事業計画」を策定したことにより指標3は目標達成とします。		

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
----------	----------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	効率的な業務体制の確保
計画(Plan)	
現状	水産物部の取扱量の低迷が続く中、稼働率向上に向け場内外事業者への効果的な営業展開等に努め、売上の確保や経費の削減を図りつつ、効率的な業務体制を確保していく必要があります。
行動計画	水産物部の取扱量の低迷が続く状況において、現在も一定の利益を確保している状況ですが、人件費を現状以下とすることで、売上高に対する人件費率の維持・改善を目標とするなど、売上高規模も踏まえたより効率的な業務体制を目指し、安定的な経営を確保していきます。
具体的な取組内容	場内事業者の需要の掘り起こし等売上高の確保を進める一方で、引き続き事業運営の効率化や効率的な業務体制を確保するなど、安定的な経営を図っていきます。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 経費の削減に努めるなど、引き続き効率的な事業運営に努めました。人件費については、大きな業務体制の変更はなかったことから、昨年度に比較してほぼ横ばいでしたが、水産物部の取扱高の減少等を受けて、主要な売上高が減少したことから、売上高に対する人件費率は29.3%となりました。
---------------	--

評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	売上高に対する人件費率	目標値		28	28	28	28	%
	説明 本業を示す主要な売上高に対する人件費及び役員報酬の合計額の割合 ※R4～7年度個別設定値:30.2%(現状値の105%)	実績値	28.8	29.3				
指標1に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
業務体制については、大きな変更はありませんでしたが、市場における卸売単価の上昇等による水産物部の取扱量の低迷等により、主要な売上高が減少したことにより目標を達成できませんでした。特に単価高については、翌年度以降も不透明な部分が多く、引き続き注視していく必要があります。								

本市による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
- B. ほぼ目標を達成した
- C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
- D. 現状を下回るものが多くあった
- E. 現状を大幅に下回った

C

指標である、売上高に対する人件費率については、売上高が362,247千円(前年比97.3%)と減少したことから、目標値を達成することができませんでしたが、人件費をほぼ横ばいに抑えているなど、一定の成果があったため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 引き続き、効率的な業務体制を維持していくとともに、場内事業者への需要の掘り起こし等を進めていくなど、令和4(2022)年度新たに作成した「中期事業計画」に基づき、主要な売上高の拡大に努めてまいります。

法人(団体名)	川崎冷蔵株式会社	所管課	経済労働局北部市場管理課
---------	----------	-----	--------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
損益計算書	営業収益	372,170	362,247			
	営業費用(売上原価)	306,123	324,123			
	営業費用(販売費及び一般管理費)	28,354	25,385			
	うち減価償却費	21,960	22,672			
	営業損益	37,693	12,738			
	営業外収益	3,118	3,048			
	営業外費用	2,994	1,712			
	経常損益	37,817	14,074			
	税引前当期純利益	37,941	14,084			
	税引後当期純利益	26,677	13,904			
貸借対照表	総資産	437,450	401,372			
	流動資産	312,915	288,726			
	固定資産	124,536	112,646			
	総負債	387,038	337,055			
	流動負債	93,366	104,368			
	固定負債	293,672	232,687			
	純資産	50,413	64,317			
資本金	50,000	50,000				
剰余金等	413	14,317				

主たる勘定科目の状況(単位:千円)			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
営業収益	冷蔵・冷凍保管事業収入		362,363	351,503			
営業収益	氷の製造販売事業収入		9,807	10,744			
総資産	現金・預金		274,733	245,011			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)		130,613	81,231			

本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金						
負担金						
委託料						
指定管理料						
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		40,000	40,000			
(市出捐率)		80.0%	80.0%			

財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		335.1%	276.6%			
有利子負債比率(有利子負債/純資産)		259.1%	126.3%			
経常収支比率(経常収益/経常費用)		111.2%	104.0%			
純資産比率(純資産/総資産)		11.5%	16.0%			
経常費用に占める市財政支出割合 ((補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)						
収益に占める市財政支出割合 ((補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)						

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>北部市場水産物部の取扱量の減少や電気料金の高騰(前年度比37,089千円増加)、施設の老朽化などにより、経営環境は厳しい状況にあります。</p> <p>このような中、長期借入金の返済(令和4(2022)年度49,200千円)を行うとともに、売上確保に向けた営業活動により場内事業者の利用を踏まえた上で場外事業者の利用を増加させるなど売上金額の減少を最小限に留め、経常利益14,074千円を確保しました。</p>	<p>北部市場水産物部の取扱量が減少傾向にある中、場内事業者の利用を最優先に営業活動を継続する一方で、場内外事業者への効果的な営業展開等に努めることで、売上の維持・増加を図るとともに、引き続き経費削減に努めて、経常利益の確保を目指してまいります。</p> <p>中期事業計画を踏まえ、借入金の返済を進めながら老朽化している3号棟冷蔵庫の施設の維持・保全に努めていくとともに、令和6(2024)年度の使用料減免の廃止、長期借入金の返済完了の実現に向けて取組を進めてまいります。</p>	<p>電気料金の高騰や水産物部の取扱量が低迷していることもあり、営業収益が減少し、営業費用が増加した結果、営業損益は減少しましたが、計画通り長期借入金の返済を行っています。引き続き不透明な状況が続くものと思われませんが、新たに作成した中期事業計画に基づき、積極的な営業展開に努め売上高の確保を図るほか、経費の抑制に努め、現在市より受けている減免(公共性の観点から使用料の減免24,629千円/年)の計画的な見直しや更なる安定的な経営の確保に努めていく必要があります。</p>

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)						
	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2	0	1	5	1	0
職員	17	0	0	0	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性